

# 広報 えびな

広報

市民憲章  
文化をたかめ  
住みよいまち  
いたしましよ



市の木つげ



市の花さつき

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243

毎月1日・15日発行

## 施設に「優しさ基準」

### 施設整備要領でできる

#### 身障者などの利用を考えると

国際障害者年を機に、市では積極的な障害者福祉の見直しを行なっています。その一つとして、身体障害者などの利用を考えた施設の整備を検討してきました。この「身体障害者等の利用を考慮した施設整備要領」が決まり、市では四月一日からの要領に基づいた施設づくりを進めて行きます。また、デパートなど民間の建物でも、すでに障害者用の施設整備に力を入れているところもあり、全市的な取り組みが期待されます。

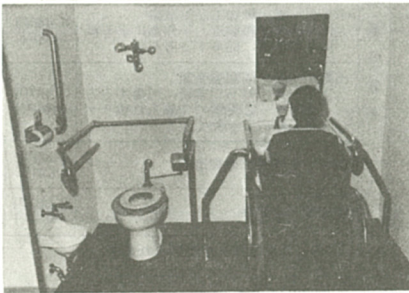
この要領では、「目的」「適用の範囲」「整備の配慮」「整備の基準」「標示」の五項目から成り、目的では、身体障害者、老人を含むすべての人々が、市の建築する施設を、安全に、そして快適に利用できるように整備して、生活圏を広げていくことをしています。このため、多数の市民のみならずが利用、ます。



▲低いカウンター  
車いすの方や、子供でも使えるように低くなっています。(写真は、市役所市民課前のカウンター)



▲位置の低い公衆電話  
車イスに座ったままでも使えるように低くなった公衆電話(写真は、市役所ロビーの公衆電話)



▲障害者用トイレ  
すべて車いすで使えるトイレ。体の不自由な方やお年寄りにも使いやすくなっています(写真は、市役所北口通路わきのトイレ)



国際シンボルマーク

特に市庁舎については、以前から入口のスロープ、自動ドア、身体障害者専用駐車場が設けられ、五十六年度中には障害者用トイレの設置、庁内公衆電話を床上一けに下げる、市民課カウンターの一部を車イスの方でも利用できるような低くするなどの整備をしたほか、車イスの方も自由に出入り出来る電話ボックスも先月二十日から庁舎前にお目見えしました。

これらの施設の整備は、主として、肢体不自由者、視覚障害者、老人、病弱者、児童の利用を考慮して行われます。具体的な整備基準は、県の要領に基づいたもので、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害者別に、構造上の着眼点、留意点をあげ、出入口、カウンター、ドア、スイッチ類の位置など細かい基準を盛り込んでおり、国際基準を満たす建築物については、国際シンボルマーク(図)を取り付けるものとしています。

この記事に関し、詳しくは保護課までお問い合わせください。

### 申告をお忘れなく

▲宅地をお持ちの方へ▼

宅地をお持ちの方で、昭和五十六年一月二日から昭和五十七年一月一日までに、住宅を新築または取り壊した方は、宅地の使用状況変更申告書」を二月一日までに提出してください。これは、一月一日現在の宅地の使用状況(住宅用地と非住宅用地に分けられる)によって、昭和五十七年度固定資産税額が異なるためです。なお、申告用紙は資産税課にあります。

▲償却資産の申告▼

二月一日は、償却資産の申告期限です。市内で事業に利用している資産が対象になりますので、一月一日現在のすべての資産を申告してください。すでに申告書は郵送しましたが、まだお手元に届いていない時、また、わからない点がありましたら資産税課にお問い合わせください。



美化ポスター優良賞 海老名小5年 民繁 裕子



